

(一財)全国地域情報化推進協会 御中				報告日	2022年2月15日	
				派遣決定番号		
地域情報化アドバイザー制度活用報告書(6日目)						
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。						
記						
1. 申請団体情報						
1-1. 申請団体						
団体名	氷川町			代表者名	藤本 一臣	
担当者部署	企画財政課			連絡先電話番号	0965-52-5850	
担当者役職	主事	担当者氏名	上田 洸平	連絡先E-mail		
住所	869-4814 熊本県氷川町島地642番地					
2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望						
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。						
アドバイザー	横山 正人					
評価	大変よい					
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DX推進リーダーを対象とした人材育成研修の第4回目を実施。前半は過去3回の研修参加者から相談事項や受講後の感想を募り、内容についてのフィードバックを実施。キャッシュレスの導入など、具体的な導入手順など深堀りしたお話をいただいた。後半は庁内のDX推進事務局向けにフィードバックを実施いただき、研修を終えての振り返りや来年度以降の取組に関する相談を行った。今回の派遣制度を通して得られた成果と反省点を踏まえ、来年度の動きを見直す機会となった。					
アドバイザーへの要望事項	情報化社会および地域・行政におけるDXについて、背景から具体的な事例紹介まで、大変勉強になりました。一方「職員の意識改革」は課題として残り続けており、長期的な視点で改善できるよう環境整備を検討すべきだと強く感じました。見出した可能性と課題をもとに、来年度の取組へとつなげていきたいと思います。					
3. 地域情報化アドバイザー派遣実績						
	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)	
3-1. 活動	2022年2月9日	13時30分	15時30分	5	115	
	派遣形態	支援・助言(オンライン)				
4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可						
掲載許可	○掲載可					
5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果						
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】			人数		
	企画財政課(DX推進事務局)、総務課(電算担当者)、DX推進リーダー			14人		
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果						
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員のデジタルリテラシーとDXへの理解が不足していることから、効果的な協議が行えず、各課題への取組も停滞している。					
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXにおいては職員全員の意識改革が求められることから、まずはDX推進リーダーとして選出された職員を育成し、意識改革の起点としたい。					
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・DX人材育成研修の実施(第4回目、全4回) ・事務局振り返り、次年度の取組に関する相談					
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・職員およびDX事務局へのフィードバック 職員：研修内容の振り返り、事例の深堀り(キャッシュレス導入) DX事務局：研修総括、次年度に向けた取り組みの注意点					
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。			⑦その他 推進リーダーの知識向上および意識醸成		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	デジタルに対する苦手意識の改善					

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度調査ならびにアドバイザーへの質問・相談事項に関するアンケート実施（アドバイザーへ共有予定）	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	対象者がデジタル技術の動向と自治体DXの全体像を理解していること。また、各課におけるDX推進施策の課題抽出や、デジタル技術を活用した業務の改善提案が行える状態になっていること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

